

# 狩野川流域における治水

---

国土交通省 沼津河川国道事務所

令和 年 月 日

# 目次

1. 狩野川流域の地形
2. 狩野川台風
3. 激甚化・頻発化する自然災害
4. 狩野川流域における治水事業
5. 自助・共助の重要性

# 1. 狩野川流域の地形

## 狩野川流域

狩野川は伊豆市の天城山を源に、大見川等の支川を合わせながら北流し、田方平野に出て、伊豆の国市古奈で狩野川放水路を分派し、箱根山を源とする来光川、富士山を源とする黄瀬川等を合わせ、沼津市で駿河湾に注ぐ、幹線流路延長46km、流域面積852km<sup>2</sup>の一級河川です。

狩野川は太平洋側の一級河川の中で唯一南から北へと北流する河川です。

流域面積

852km<sup>2</sup>

幹線支川流路延長

46km

流域の自治体

沼津市、三島市、裾野市、御殿場市、伊豆の国市、伊豆市、清水町、函南町、長泉町

主な支川

黄瀬川、柿田川、大場川、来光川



出典: IKONOS (H13撮影) をもとに作成

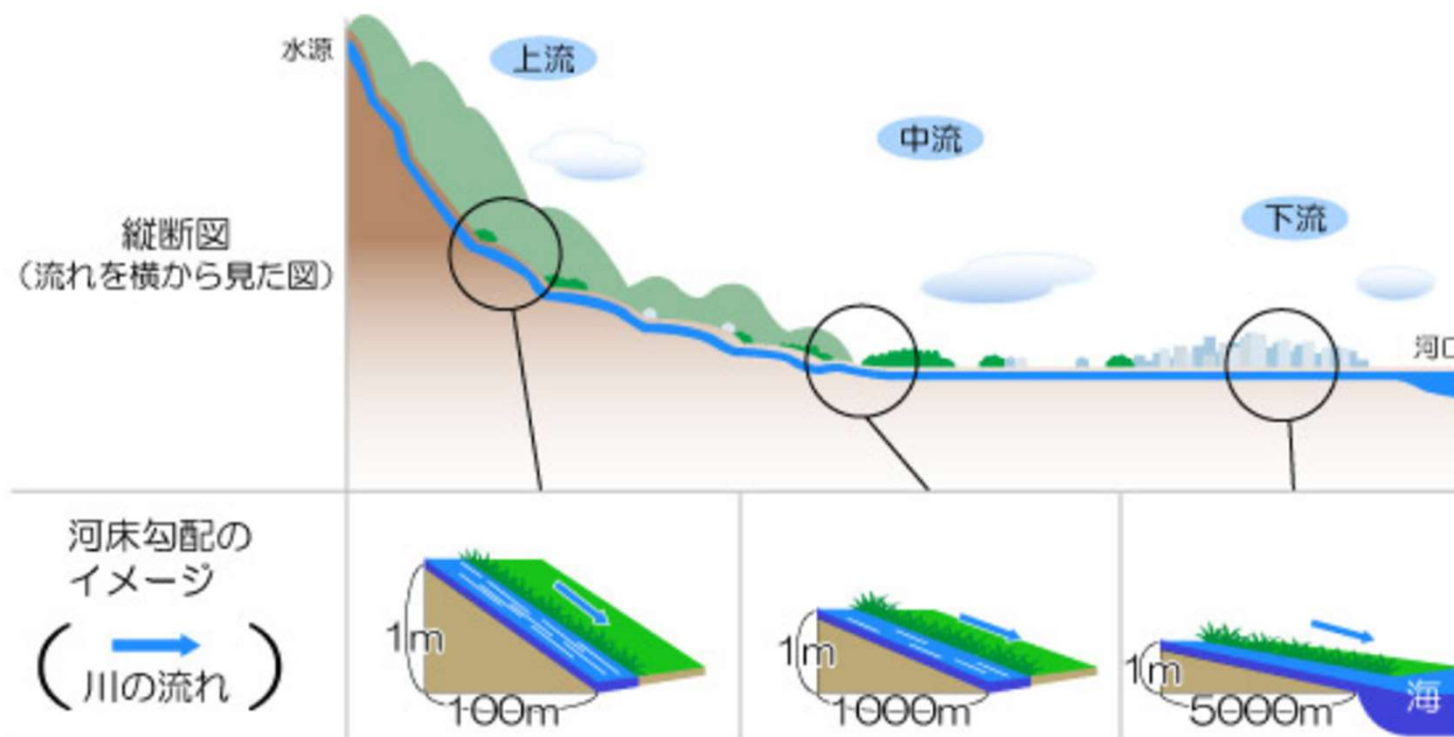
図 狩野川流域図

出典: 国土交通省「狩野川」

## 参考：川の傾斜

川の流れる方向の川底の傾きを、**河床勾配**といいます。

**山間部では河床勾配が急**になり、**平野部では緩やか**になりますが、日本は山地が多く平野は少ないため、ほとんどの川が**急勾配河川**になります。



河川では河床勾配を1m高さが上がるために必要な距離を用いて表します。

**河床勾配  $I=1/100$  の場合、100m上流に行くと1m高さが高くなる勾配**という意味です。

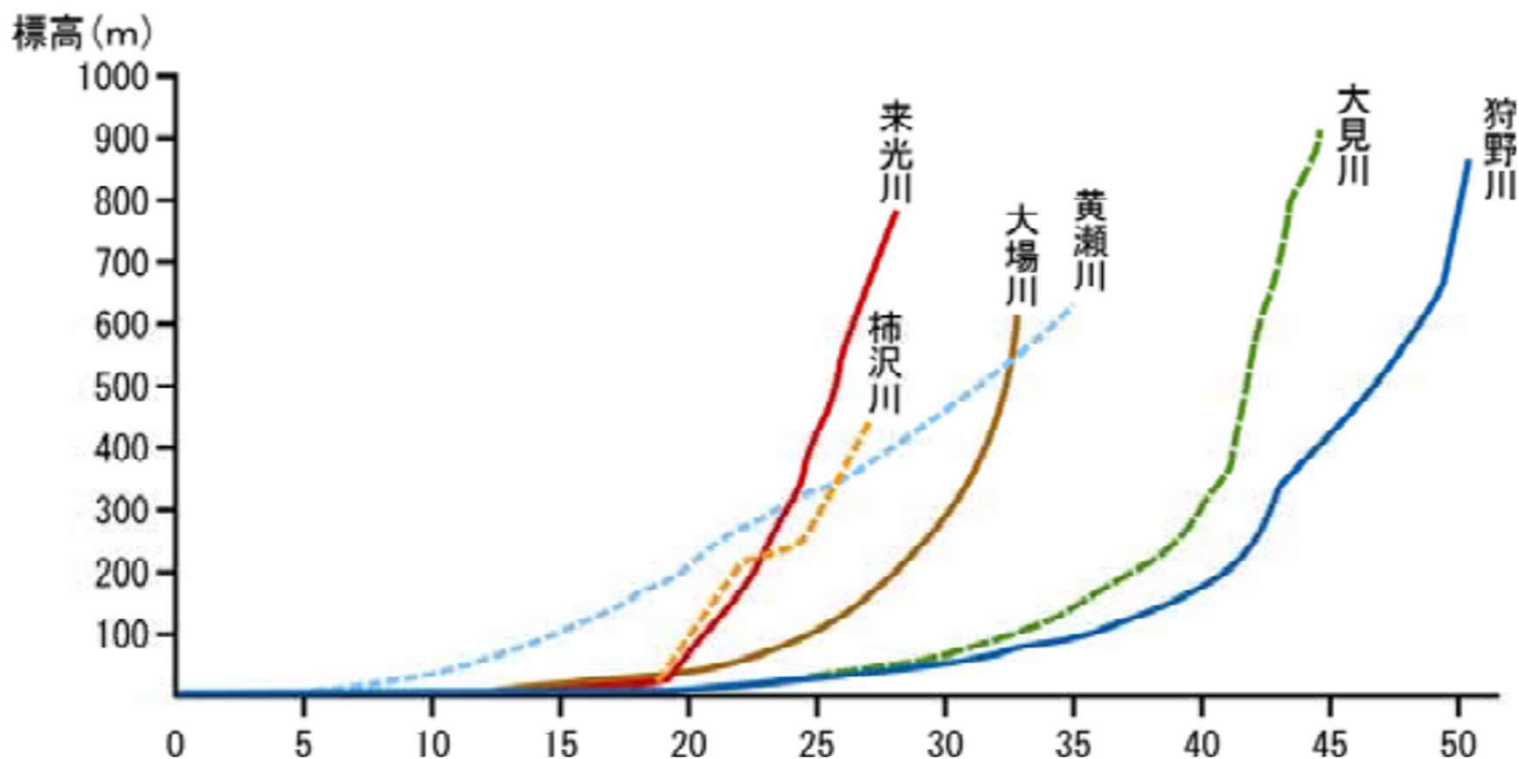
一般的な河川の河床勾配は、海に近い下流部で $I=1/1000\sim 1/5000$ 、中流部では $I=1/100\sim 1/1000$ 、上流の**山間部では $I=1/100$ より急になることが多い**ようです。





## 狩野川の河床勾配

狩野川の上流部は約 1/500~1/180 と急勾配であり、狩野川放水路付近で勾配が緩くなり、中流部は約 1/1000、下流部は約 1/1800 の勾配です。来光川は田川平野で勾配が緩くなります。



距離標(km)	0	8.0	12.0	18.0	23.0	27.0	
河川区分	下流部		中流部			上流部	
周辺地形	平地(市街地)		平地(田園地帯)			山地	
河床勾配	1/1,800		1/1,000	1/500	1/180		

出典：沼津河国道事務所



# 1. 狩野川流域の地形

## 雨が降りやすい狩野川

海から流れ込む湿った空気は、天城の山々にぶつかって、多量の雨となって狩野川流域に降り注ぎます。

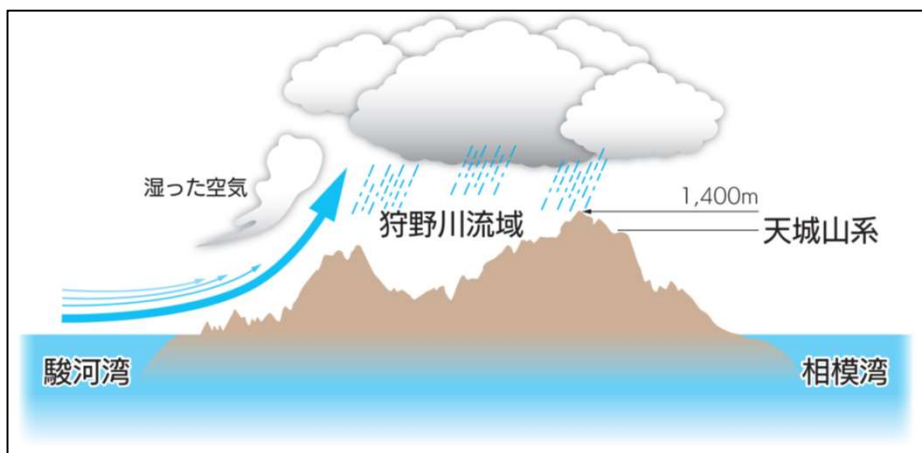
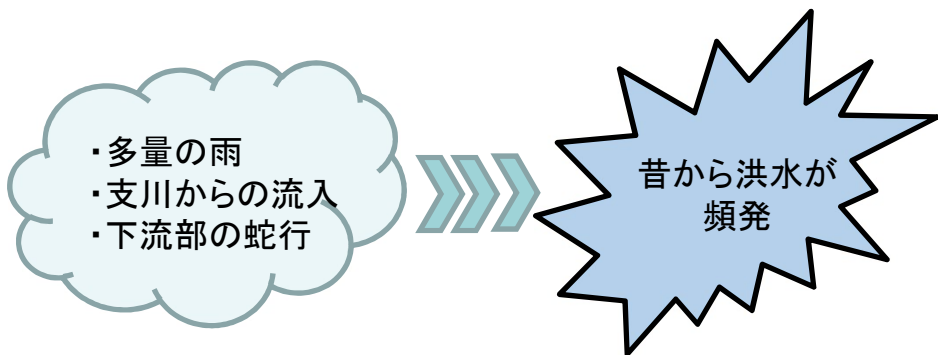


図 天城山系に多量の雨が降る理由



狩野川流域の年間降水量は、狩野川上流域の天城山系や黄瀬川上流域の富士山麓部は**3,000mmを超える多雨地帯**、中下流の平野部は2,000mm前後です。

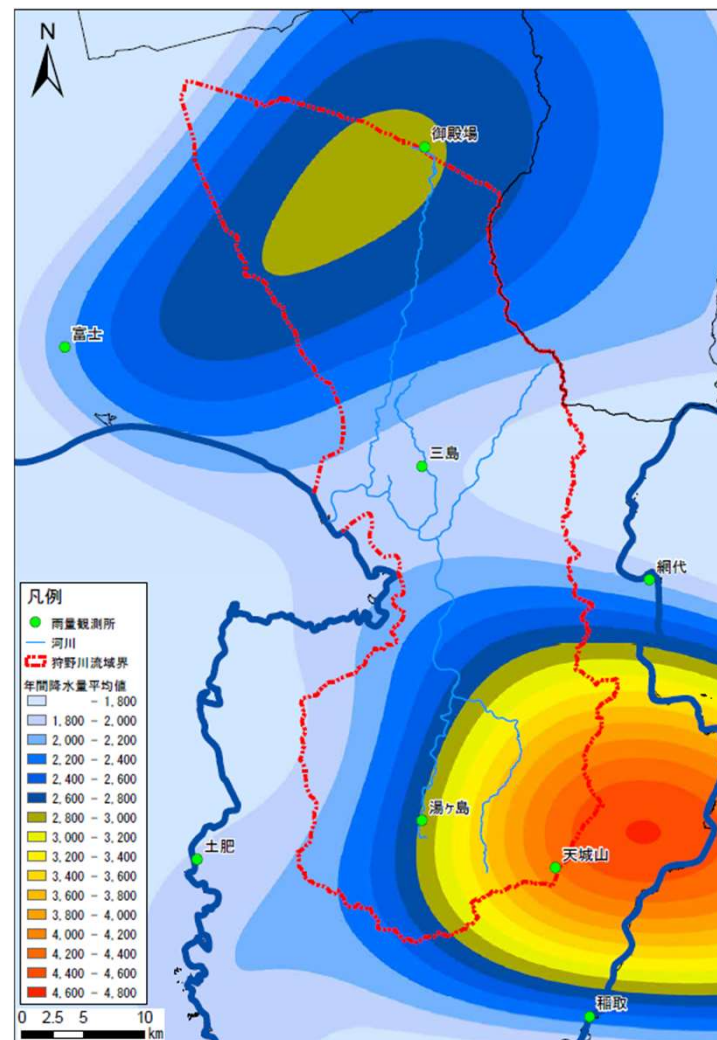


図 狩野川流域内の年間雨量平均 (1976年～2019年)

# 1. 狩野川流域の地形

## 狩野川流域の地形の特徴

狩野川流域は、富士山、天城山等の火山から成る山地がおよそ75%を占めており、修善寺町付近から河谷が開け、中流部には田方平野が広がります。

田方平野は、標高が10m前後の盆地状の低地であるとともに、先端には三島扇状地が押し迫り、狩野川の流路が狭いため、洪水被害を受けやすい地形となっています。

また流域の大半が脆弱な火山噴出物で形成されているため、大雨等で崩壊しやすい地質構造となっています。

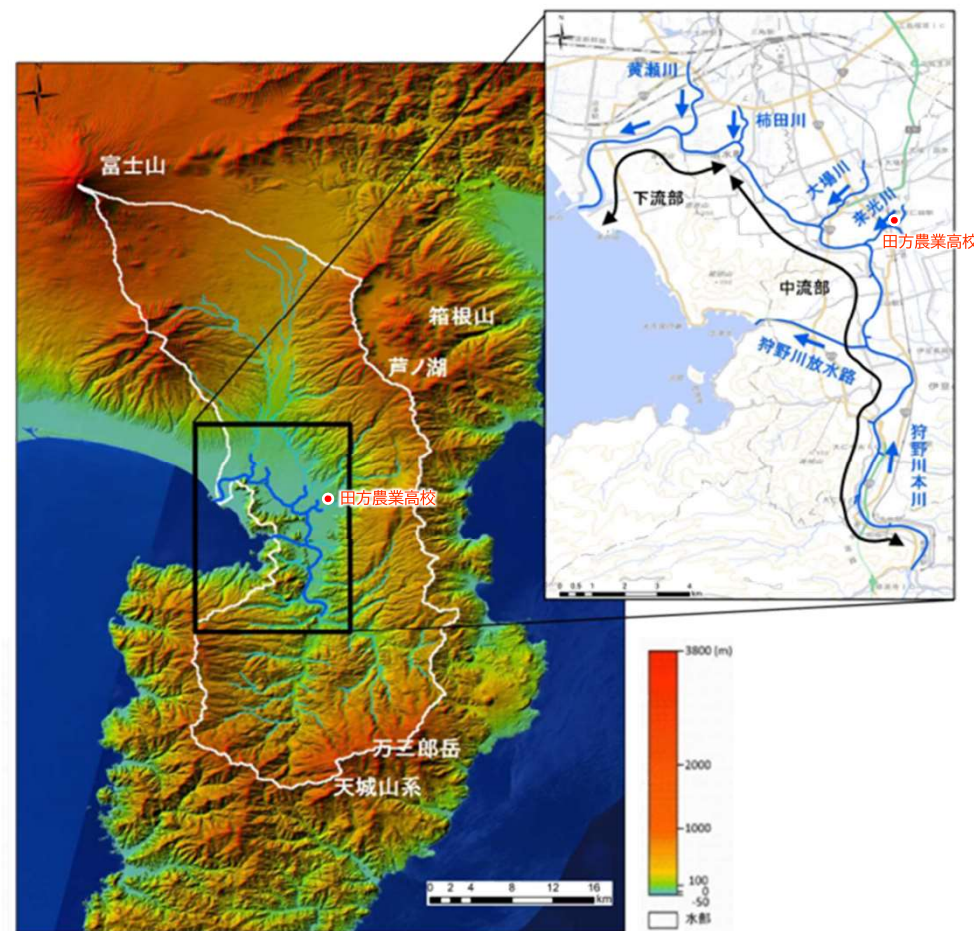


図 狩野川流域 地形状況



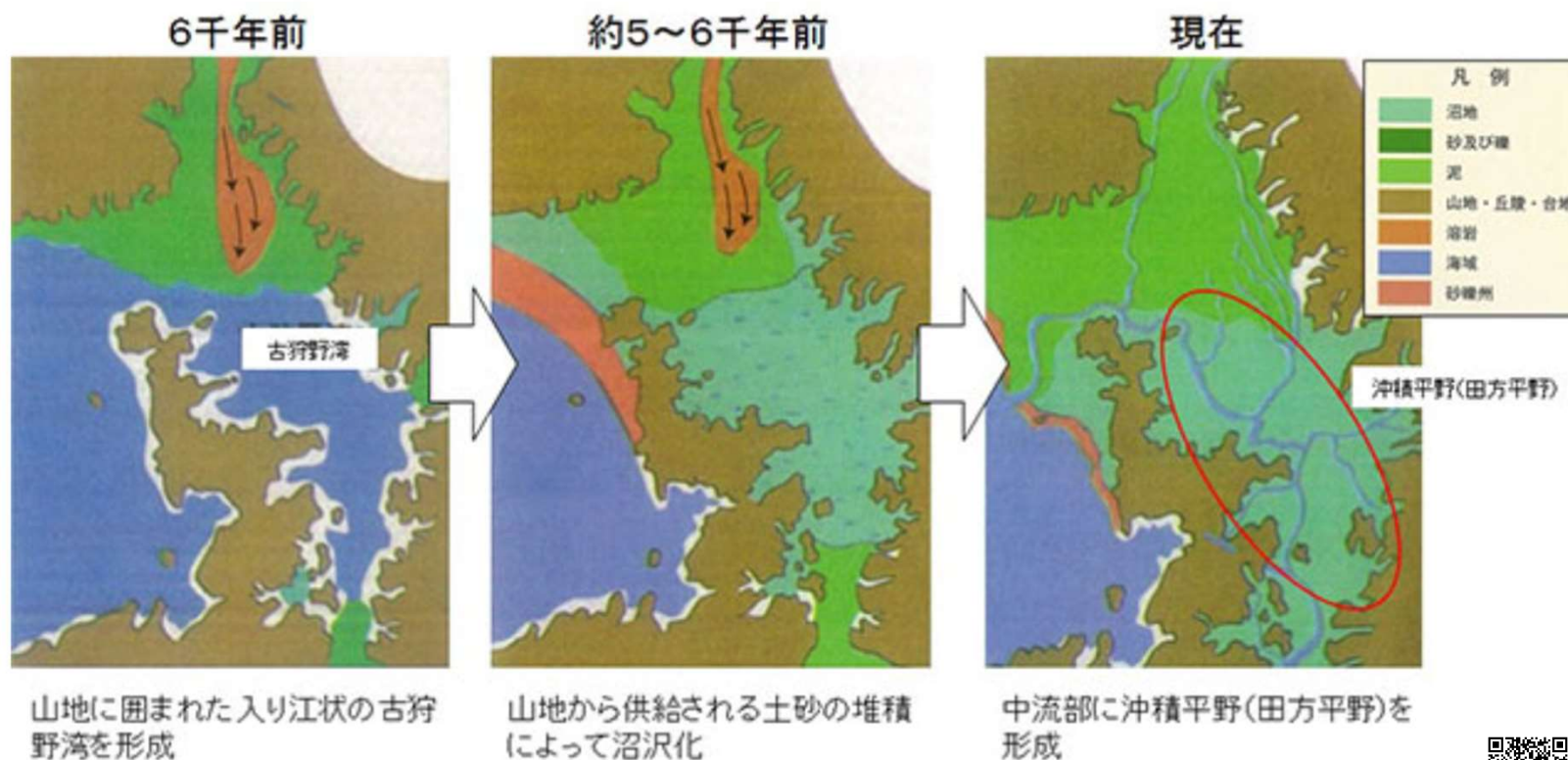


# 1. 狩野川流域の地形

## 田方平野の成り立ち

狩野川中流部に広がる田方平野は、狩野川による堆積作用によって形成された沖積平野です。海面が現在より数m高かった約6000年前、現在の田方平野は広い入り江で古狩野湾を形成していました。

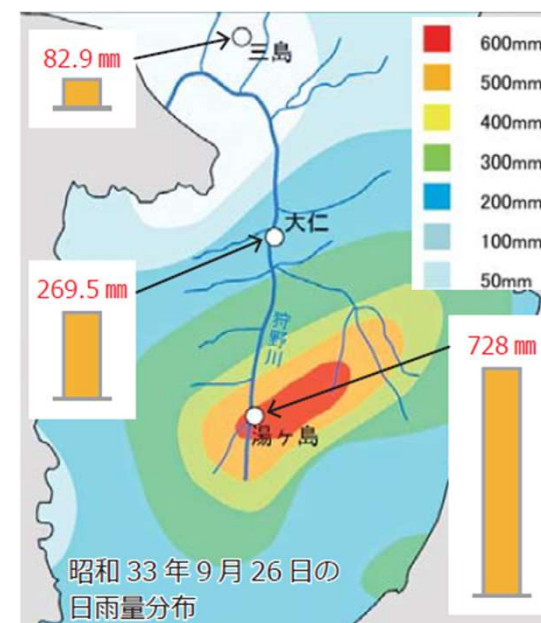
やがて海面が低下し始めると、山から運ばれた土砂が少しずつ堆積し、古狩野湾は次第に狭まっていき、現在の田方平野が形成されました。



## 2. 狩野川台風

### 狩野川台風の概要

昭和33年（1958年）9月に発生した狩野川台風は、9月26日に伊豆半島南部付近を通過しました。狩野川の上流にある湯ヶ島観測所では、当時の観測史上最大日雨量となる739mmを記録しました。狩野川の上流において、平均年間降水量の約3割の雨が1日で降りました。



出典: 狩野川台風から60年



狩野川台風により上流では土砂災害、中流・下流では洪水が発生し、狩野川流域に甚大な被害をもたらしました。

修善寺橋(現在の伊豆市)では、上流から流れてきた土砂や流木により一時ダムのような状態となって大量の水をため込み、ついには水圧に堪えきれず流れ出し、下流地区の被害を大きくしました。

出典: 「狩野川台風から60年」を加工



修善寺橋の閉塞によって上流にたまった水の範囲



## 2. 狩野川台風





## 2. 狩野川台風

### 狩野川流域の被害

上流では土砂災害、中流・下流では洪水が発生し、狩野川流域に甚大な被害をもたらしました。

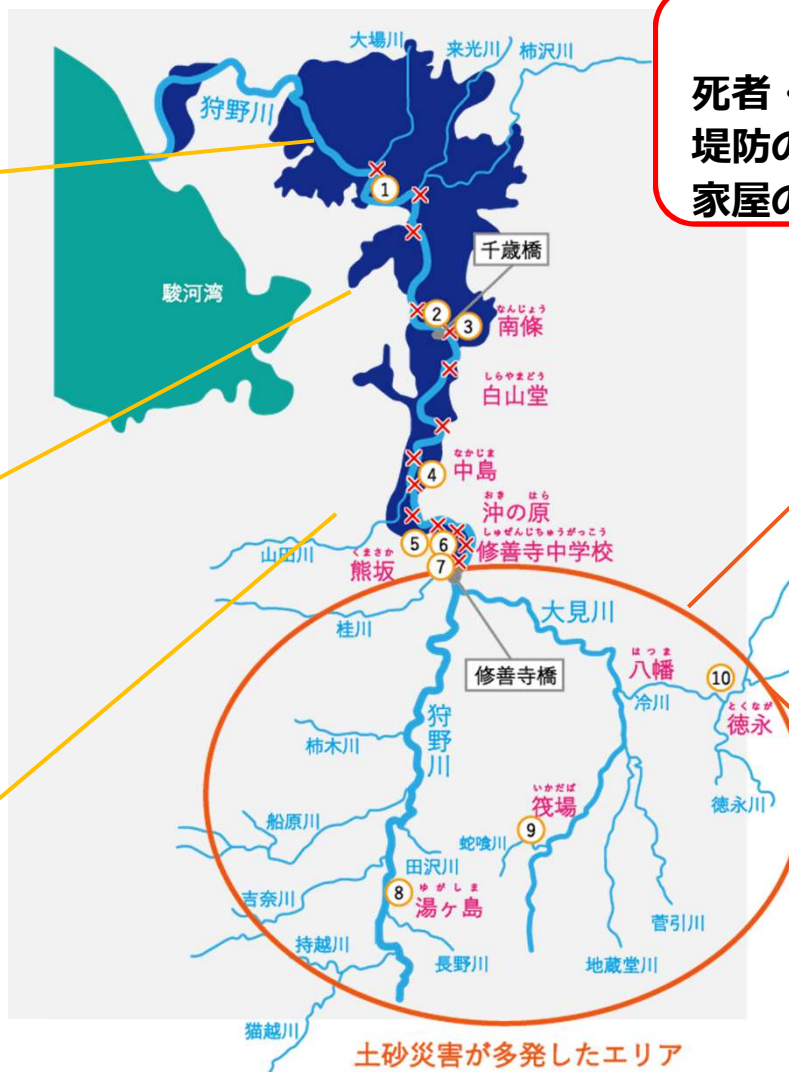
①泥や流木でおおわれた田方平野



②流木がたまった千歳橋



⑤濁流の被害を受けた熊坂地区



#### 狩野川流域の被害

死者・行方不明者：853名

堤防の決壊：24箇所

家屋の被害：6,775戸

⑧⑩土砂災害の被害を受けた地区

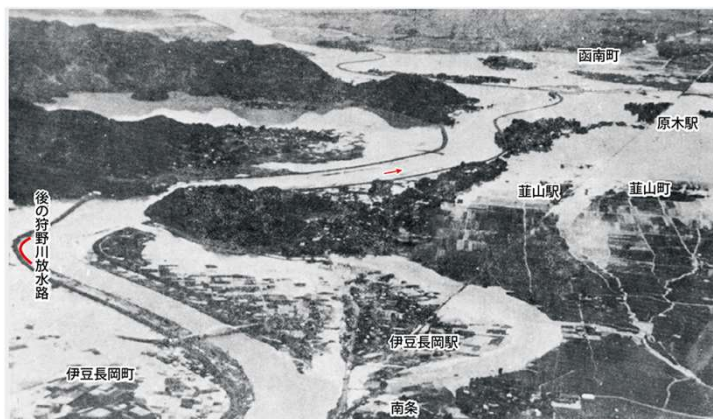




## 2. 狩野川台風

### 函南町の被害

狩野川中流域では、7箇所堤防が決壊し、氾濫面積は3000haに達しました。  
 函南町では、大場川と来光川で3箇所の堤防が決壊し、函南町の平坦部は多大な被害を受けました。



狩野川の氾濫と内水により一面に浸水した田方平野  
 (静岡県田方郡葦山町、伊豆長岡町)



一面泥と流木の田方平野  
 (静岡県田方郡函南町塚本)

出典: 中部災害アーカイブス



函南町位置図



### 3. 激甚化・頻発化する自然災害

地球温暖化の影響による降雨量の増加などに伴い、近年、全国的に洪水、内水氾濫、土砂災害の自然災害が激甚化・頻発化しています。

平成  
27  
～  
30  
年

平成27年9月関東・東北豪雨



①鬼怒川の堤防決壊による浸水被害  
(茨城県常総市)

平成28年8月台風10号



②小本川の氾濫による浸水被害  
(岩手県岩泉町)

平成29年7月九州北部豪雨



③桂川における浸水被害  
(福岡県朝倉市)

7月豪雨



④小田川における浸水被害  
(岡山県倉敷市)

北海道胆振東部地震



⑤土砂災害の状況  
(北海道厚真町)

令和  
元年

8月前線に伴う大雨



⑥六角川周辺における浸水被害  
(佐賀県大町町)

東日本台風



⑦千曲川における浸水被害  
(長野県長野市)

令和  
2年

7月豪雨



⑧球磨川における浸水被害  
(熊本県人吉市)

令和  
3年

8月豪雨



⑨池町川における浸水被害  
(福岡県久留米市)

令和3年7月の梅雨前線に伴う大雨  
熱海市伊豆山土石流災害



⑩逢初川上流の崩壊源頭部  
(静岡県熱海市伊豆山逢初川)

令和  
4年

8月3日からの大雨



⑪最上川による溢水被害  
(山形県大江町)



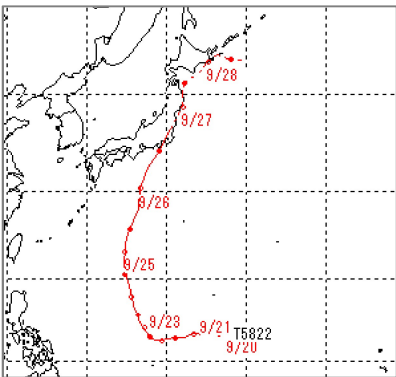
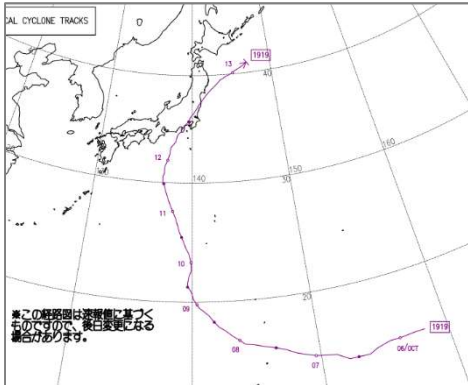
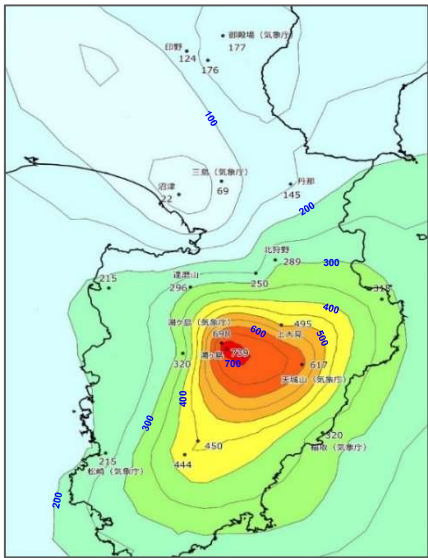
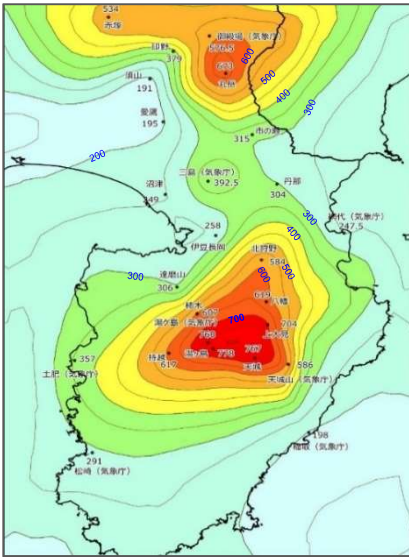
出典: 国土交通省の河川情報施策



# 3. 激甚化・頻発化する自然災害

## 狩野川流域における「令和元年東日本台風(台風第19号)」

- 令和元年東日本台風は、狩野川台風とほぼ同様のコースでした。
- 雨量を比較すると、狩野川台風は、狩野川上流域に強雨域が形成されたのに対し、令和元年東日本台風では狩野川上流域と黄瀬川・大場川上流域の箱根山等でも強雨域が発生しました。

	狩野川台風	令和元年東日本台風
台風経路	 <p>昭和33年9月21日9時発生 最低気圧877hPa 平均速度25.6km/h</p> <p>26日夕刻頃から速度が落ち 毎時20キロ位で北東に進み、 940hPaの強い勢力を保った まま、22時頃伊豆南端をか すめ 関東に上陸。</p>	 <p>令和元年10月6日3時発生 最低気圧915hPa 平均速度27km/h</p> <p>12日17時過ぎには伊豆半 島の西南西の海上で、中 心の気圧は945hPaの大 型で強い台風となり、19時 前に955hPaの勢力で伊 豆半島に上陸した後、関 東地方を通過。</p>
等雨量線図の比較	 <p>総雨量(mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0 ~ 50</li> <li>50 ~ 100</li> <li>100 ~ 200</li> <li>200 ~ 300</li> <li>300 ~ 400</li> <li>400 ~ 500</li> <li>500 ~ 600</li> <li>600 ~ 700</li> <li>&gt;= 700</li> </ul>	 <p>総雨量(mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0 ~ 50</li> <li>50 ~ 100</li> <li>100 ~ 200</li> <li>200 ~ 300</li> <li>300 ~ 400</li> <li>400 ~ 500</li> <li>500 ~ 600</li> <li>600 ~ 700</li> <li>&gt;= 700</li> </ul>



### 3. 激甚化・頻発化する自然災害

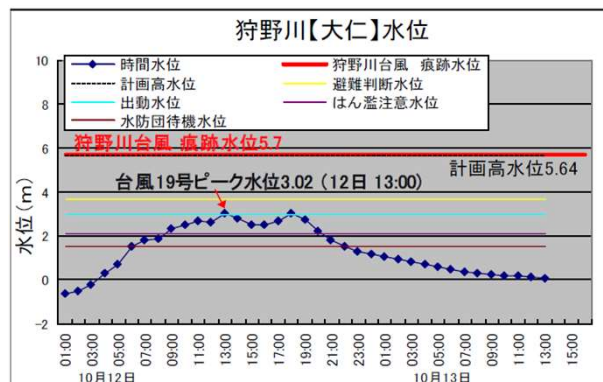
#### 狩野川流域における「令和元年東日本台風(台風第19号)」

狩野川台風の総雨量は超えたものの、雨の降り方やこれまでの河川整備により、狩野川本川で堤防の決壊等の甚大な被害は発生しませんでした。

##### ■ 大仁水位観測所の水位

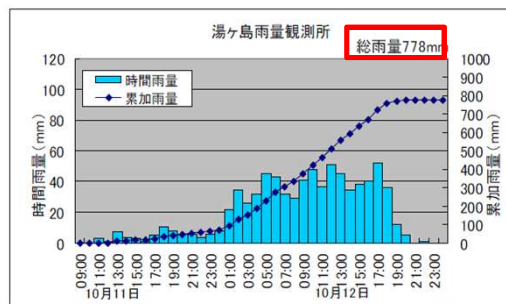
狩野川上流域にある大仁水位観測所の最高水位は狩野川台風では5.70m、台風第19号では3.02mでした。

狩野川台風当時と比べ河川整備が進んだことが水位低下の原因の1つと考えられます。

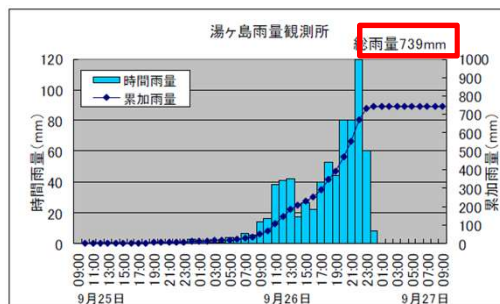


##### ■ 湯ヶ島雨量観測所の時間雨量

台風第19号の総雨量は778mmで、狩野川台風の739mmより多くの雨が降りました。一方、最大時間降水量は台風第19号は52mm、狩野川台風は120mmで、雨の降り方に大きな違いがありました。

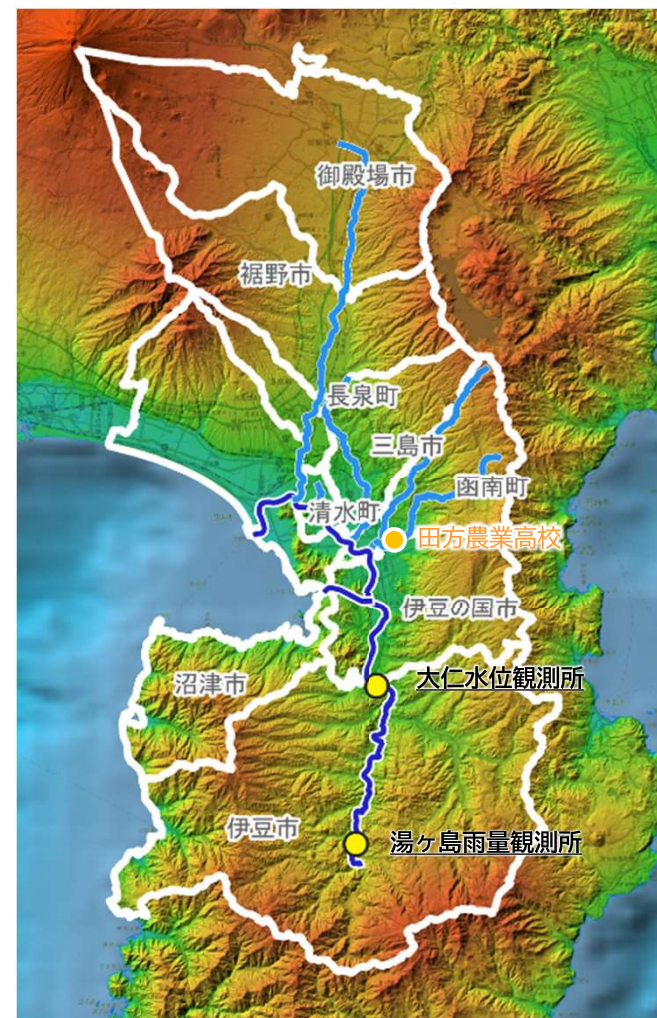


台風第19号



狩野川台風

出典: 狩野川流域における令和元年東日本台風の報告



観測所位置図



# 令和元年東日本台風 狩野川のようす ～新狩野川大橋の周辺～



### 3. 激甚化・頻発化する自然災害

#### 狩野川流域における「令和元年東日本台風(台風第19号)」

狩野川本川で氾濫等は発生しませんでした。流域の各地で内水氾濫等による被害が発生しました。

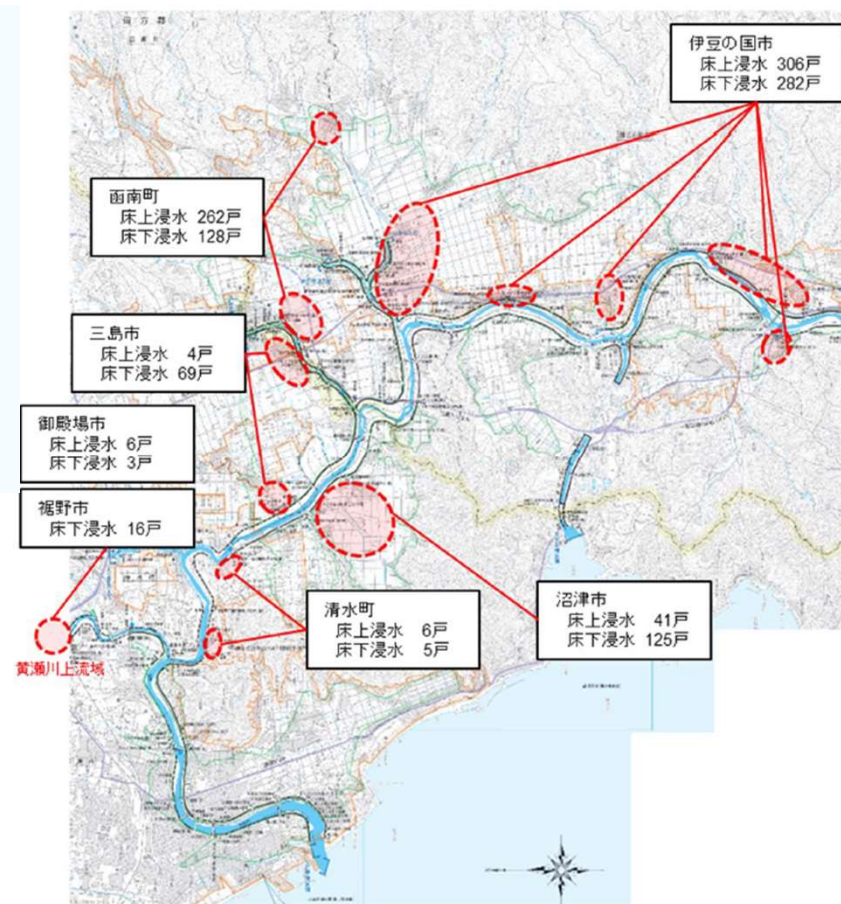
##### 内水氾濫

排水能力を超える多量の雨が降り、排水が雨量に追い付かず建物や土地が浸水すること。

##### 外水氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出ること。洪水。

狩野川の中流域から下流域にかけては、地盤が低く、降雨時に自然排水が困難となりやすい地形となっています。



台風第19号における浸水範囲



# 3. 激甚化・頻発化する自然災害

## 函南町における内水被害

間宮地区では、頻繁に内水被害が発生しています。



函南町間宮地区の内水氾濫被害実績図

出典: 沼津河川国道事務所





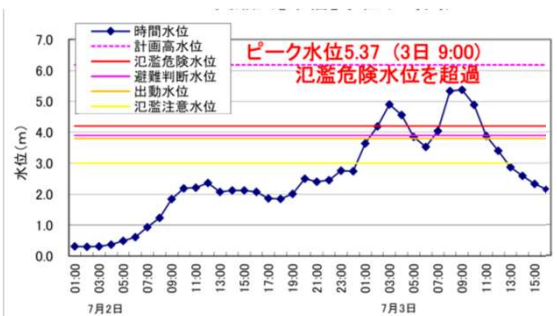
# 3. 激甚化・頻発化する自然災害

## 狩野川流域における「令和3年7月の梅雨前線に伴う大雨」

- 本州上に梅雨前線が停滞した影響で、静岡県は、1日から3日まで断続的に雨が降り続き、特に黄瀬川流域の大部分で累加レーダー雨量が500mmを上回りました。
- 黄瀬川流域に位置する愛鷹雨量観測所(裾野市)では、3日深夜に時間雨量75mmの非常に激しい雨を記録し、1日1時から3日15時までに降った総雨量は721mmを記録しました。

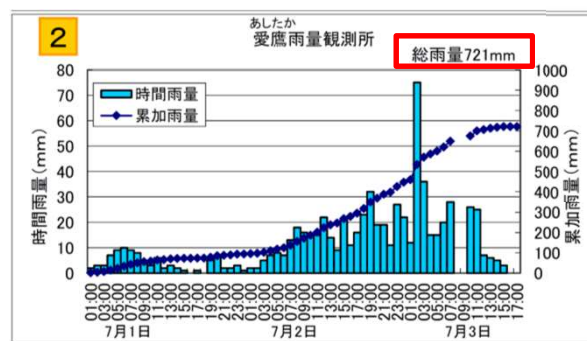
### ■ 本宿水位観測所の水位

黄瀬川の本宿水位観測所で氾濫危険水位を超過しました



### ■ 愛鷹雨量観測所の時間雨量

総雨量は721mmを記録しました。



観測所位置図



出典: 令和3年7月の出水状況

### ■ 黄瀬川における被害

大雨により黄瀬川では、沼津市と清水町をつなぐ黄瀬川大橋の橋脚、橋梁が損傷、同河川の護岸の崩落等の被災が発生しました。



黄瀬川左岸  
ブロック積護岸の崩落



黄瀬川大橋橋脚、  
橋梁の損傷



出典: 令和3年7月豪雨による 狩野川水系黄瀬川の出水状況 (第2報)

## 4. 狩野川流域における治水事業



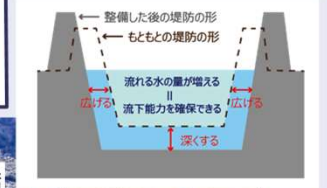






# 4. 狩野川流域における治水事業

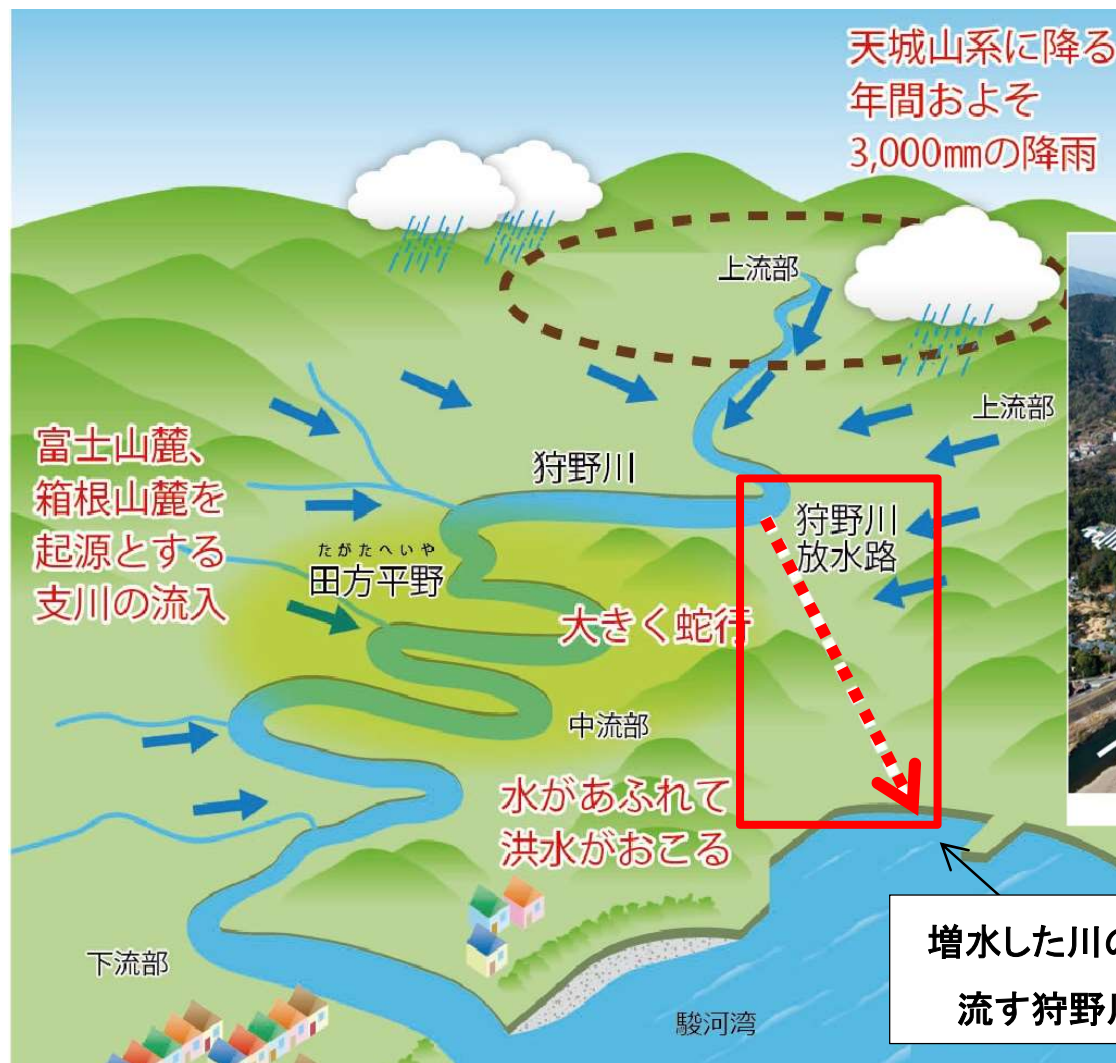
## 平常時の防災対策





# 4. 狩野川流域における治水事業

## 狩野川放水路



### 狩野川放水路の分流地点の様子



増水した川の水を海へ流す狩野川放水路

狩野川と狩野川放水路

## 4. 狩野川流域における治水事業

### 狩野川放水路の効果

狩野川放水路が整備されたことで洪水時には、狩野川本川や支川の水位が低下し、飛躍的に治水安全度が向上しています。

平成19年台風第9号時、もしも狩野川放水路がなく下流部で氾濫した場合、沼津市街において560haの浸水被害(東京ドーム約120個分)が発生した可能性があります。





# 4. 狩野川流域における治水事業

## 狩野川放水路の効果(台風第19号時)

- 狩野川台風級の台風19号は、狩野川流域に対して、狩野川台風よりも多くの雨をもたらしました。
- 狩野川放水路がなければ、狩野川本川のいたるところで越水や決壊が発生し甚大な被害が発生したと推定されます。**
- それにより、およそ**1.6万戸の家屋浸水、伊豆箱根鉄道や国道136号などの重要な交通網や施設の浸水被害が想定され、狩野川放水路により、狩野川沿川の沼津市、伊豆の国市、三島市、函南町、清水町を河川の氾濫被害から守りました。**被害の防止効果は、**約7,400億円と推定**される

### 狩野川台風との比較(総雨量)

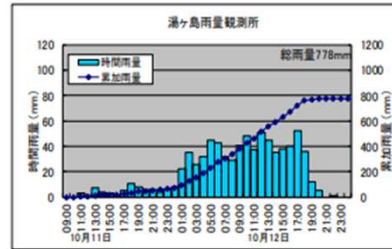
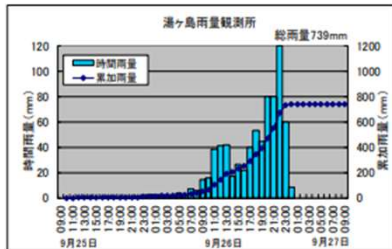
・狩野川台風(昭和33年9月)  
湯ヶ島雨量観測所で739mm

・台風19号  
湯ヶ島雨量観測所で778mm

■狩野川台風(昭和33年9月)

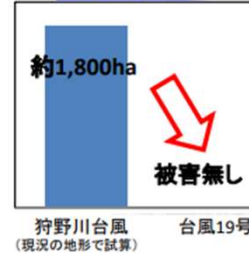
■台風19号

※今回の洪水で流域最大



### 狩野川放水路の整備による効果(想定)

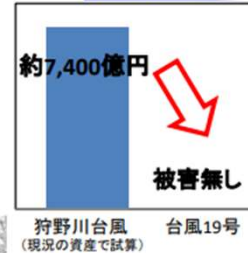
浸水面積 ※1



浸水戸数 ※1



被害額 ※1



※1 狩野川の氾濫によるもの



狩野川放水路により、約1,000m<sup>3</sup>/sの洪水を分派し本川の流量を低減



※図は、狩野川台風の降雨に伴い狩野川が氾濫した場合の浸水状況を想定したもの(浸水想定区域図(計画規模))



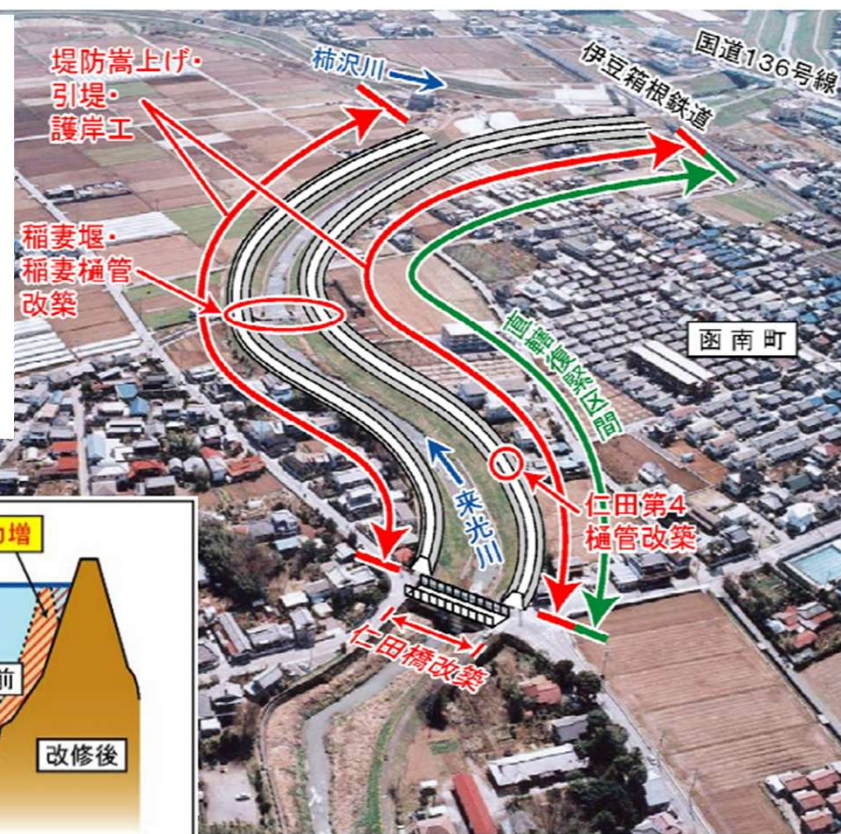
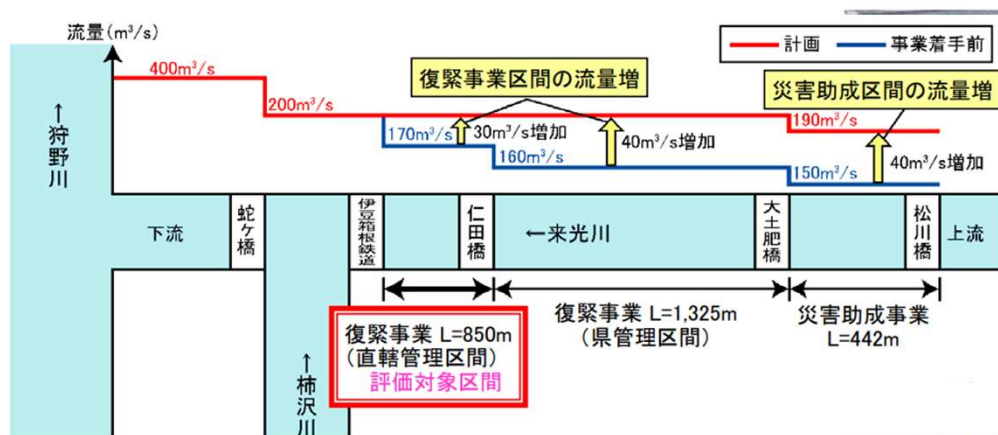
出典: 中部地方整備局



# 4. 狩野川流域における治水事業

## 来光川における治水事業

函南町では、平成10年8月の豪雨により、未曾有の浸水被害が発生しました。このため、来光川の上流部の流量増加に対応するため、下流部では静岡県と国土交通省が平成11年度から堤防嵩上げ、引堤、護岸工、稲妻樋管改築等の復緊事業を実施し、平成14年度に完成しました。

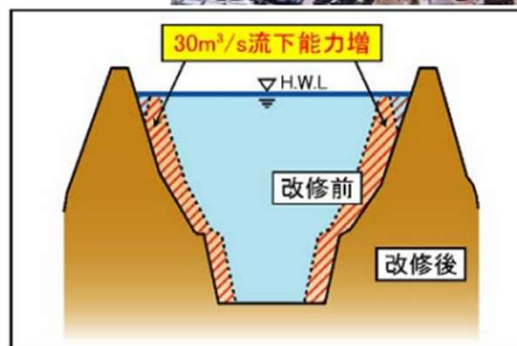


### 堤防の嵩上げ

既設の堤防の上にさらに盛土（土を盛る）し、堤防を高くする。

### 引堤

既設堤防を堤内側に移動させ、川の幅を拡大し、川の流下能力を大きくする。



堤防の嵩上げ、引堤後の断面

来光川復緊事業の概要



## 4. 狩野川流域における治水事業

### 来光川における治水事業【河道掘削】

河道掘削は、河道断面を拡幅させ、河川の流下能力を増加させる工事です。令和3年度、来光川において河道掘削が実施されました。



工事名	令和3年度 狩野川河道維持工事
工種	河川土工
測点	来光川左岸0.4k

掘削状況

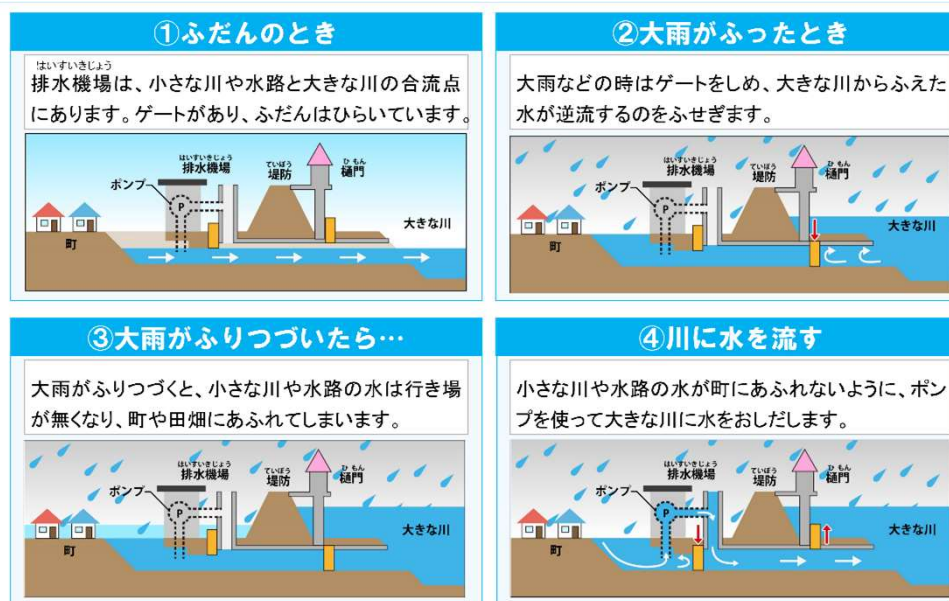
来光川左岸0.4kmの河道掘削状況



# 4. 狩野川流域における治水事業

## 観音川排水機場

大場川左岸の函南町間宮地区には観音川排水機場が設置されています。排水機場は、大雨などによる市街地や農地などへの水害を未然に防止するために排水ポンプを稼働して、雨水や生活排水などを河川に強制的に排水する施設です。



排水機場の仕組み



観音川排水機場

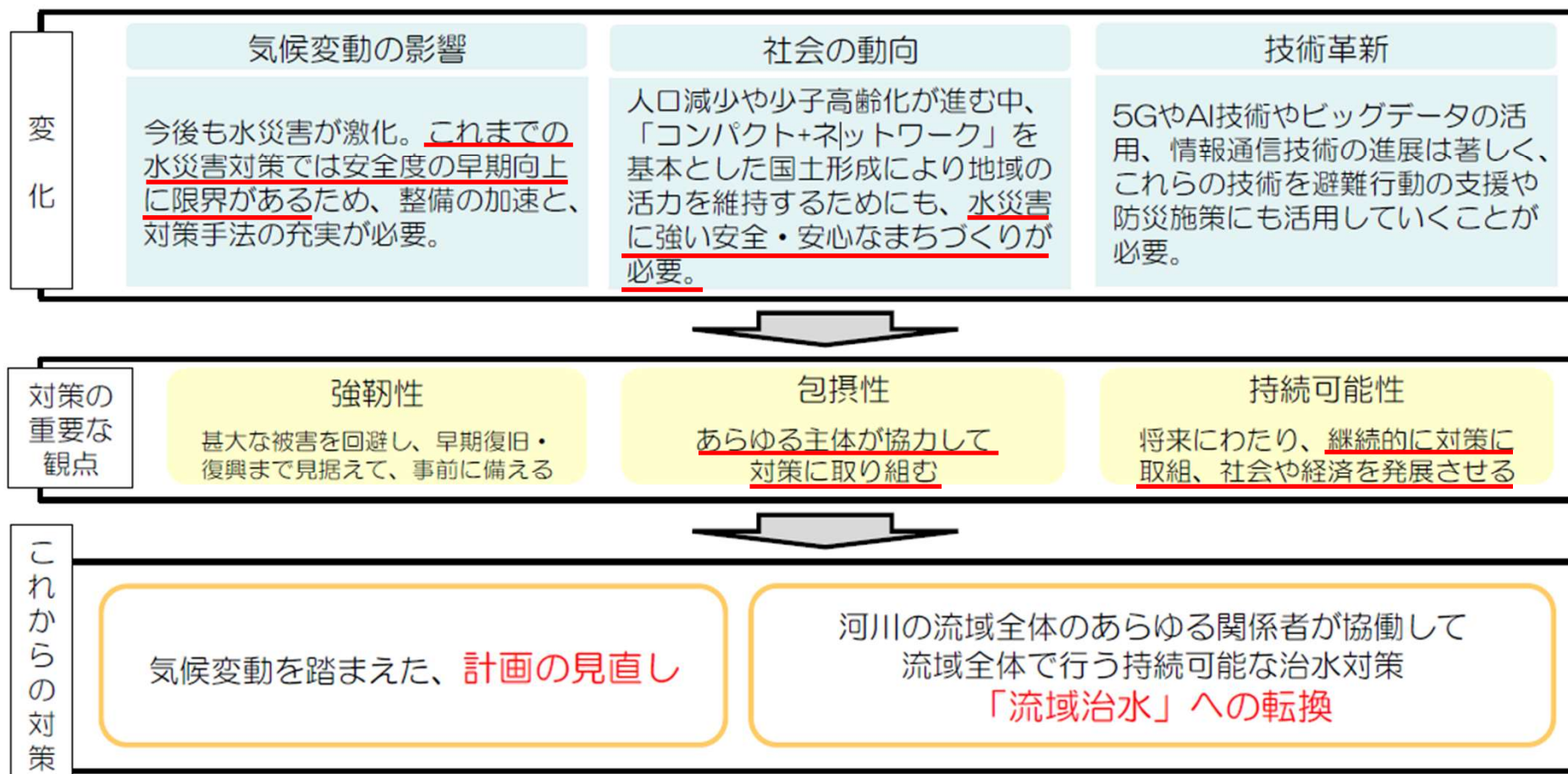


# 4. 狩野川流域における治水事業

## 気候変動による降雨量の増加等を踏まえた治水計画の見直し

### これまでの対策

施設能力を超過する洪水が発生することを前提に、社会全体で洪水に備える、水防災意識社会の再構築  
洪水防御の効果の高いハード対策と命を守るための避難対策とのソフト対策の組合せ

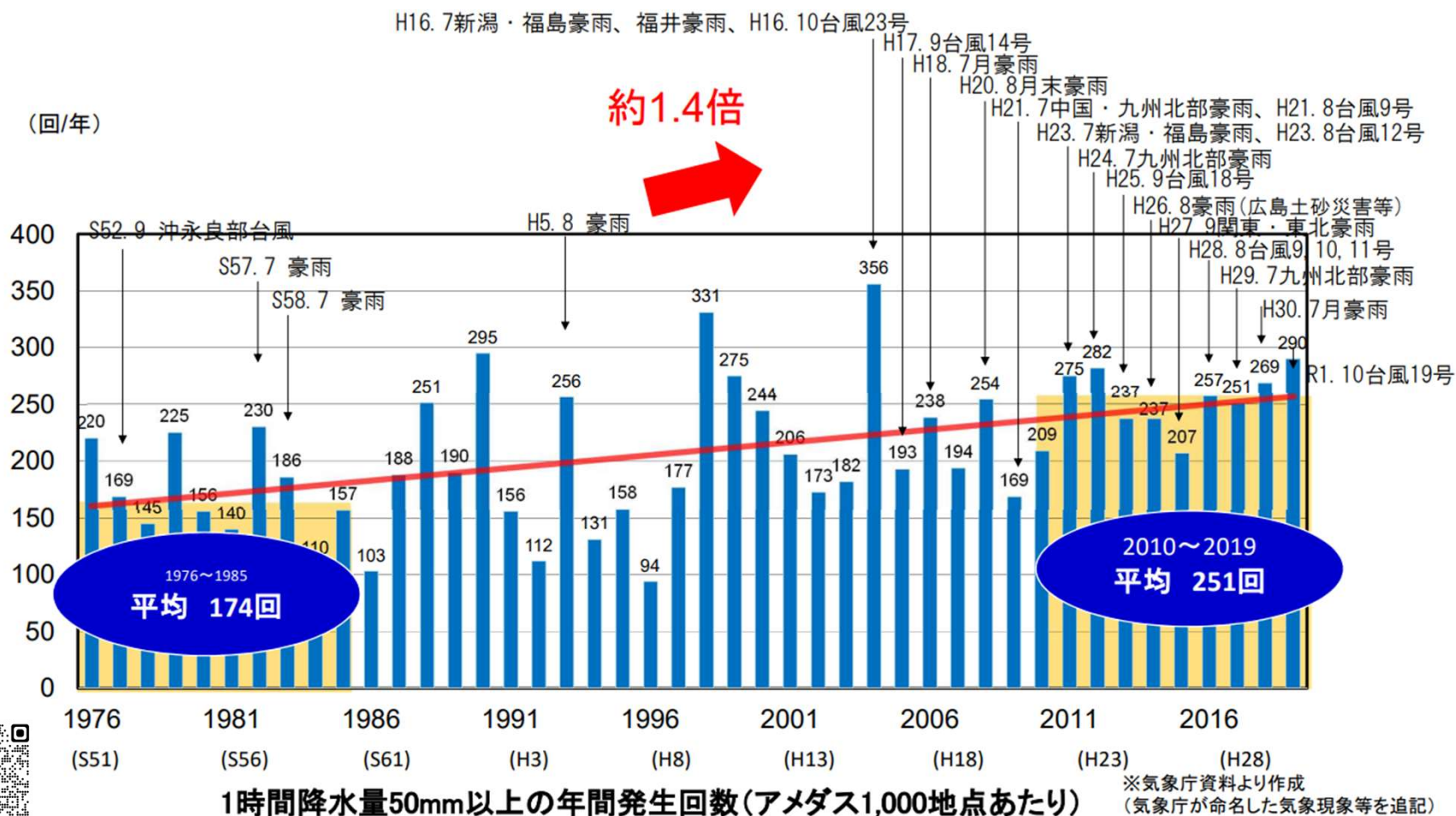


# 4. 狩野川流域における治水事業

## 気候変動による降雨量の増加等を踏まえた治水計画の見直し

### 近年、雨の降り方が変化

- 時間雨量50mmを超える短時間強雨の発生件数が増加
- 気候変動の影響により、水害の更なる頻発・激甚化が懸念



出典:「流域治水」の基本的な考え方



## 4. 狩野川流域における治水事業

### 気候変動による降雨量の増加等を踏まえた治水計画の見直し

#### 気候変動を踏まえた計画の見直しへ

治水計画を「過去の降雨実績に基づく計画」から「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直し

#### これまで

洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮・高波等を防御する計画は、これまで、過去の降雨、潮位などに基づいて作成してきた。

しかし、

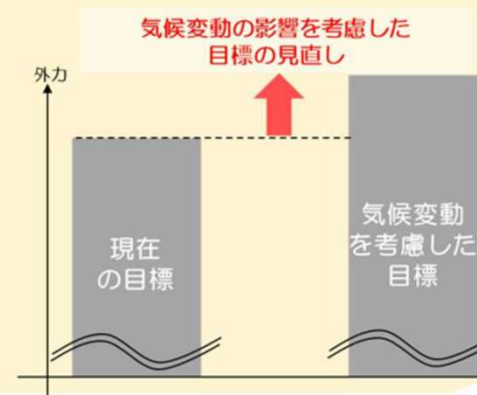
気候変動の影響による降雨量の増大、海面水位の上昇などを考慮すると現在の計画の整備完了時点では、実質的な安全度が確保できないおそれ

#### 今後は

気候変動による降雨量の増加\*、潮位の上昇などを考慮したものに計画を見直し

気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇相当	約1.1倍	約1.2倍	約2倍

※ 世界の平均気温の上昇を2度に抑えるシナリオ(パリ協定が目標としているもの)



## 4. 狩野川流域における治水事業

### 気候変動による降雨量の増加等を踏まえた治水計画の見直し

#### 流域治水の基本的な考え方

気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえ、河川管理者が主体となって行う河川整備等の事前防災対策を加速化させることに加え、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、「流域治水」を推進し、総合的かつ多層的な対策を行う。

#### 流域治水：流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策

##### 堤防整備等の氾濫をできるだけ防ぐための対策

- 堤防整備、河道掘削や引堤
- ダムや遊水地等の整備
- 雨水幹線や地下貯留施設の整備
- 利水ダム等の洪水調節機能の強化

まず、対策の加速化



##### 被害対象を減少させるための対策

- より災害リスクの低い地域への居住の誘導
- 水災害リスクの高いエリアにおける建築物構造の工夫

##### 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 水災害リスク情報空白地帯の解消
- 中高頻度の外力規模（例えば、1/10, 1/30など）の浸水想定、河川整備完了後などの場合の浸水ハザード情報の提供



## 4. 狩野川流域における治水事業

### 01 氾濫をできるだけ防ぐ

治水・利水ダムの  
効果的活用



田んぼダム



遊水地の  
整備・活用



校庭やビル地下  
に雨水を貯留



堤防の整備



# 4. 狩野川流域における治水事業

## 流域治水の施策イメージ

### ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

#### 雨水貯留機能の拡大 集水域

[国・市、企業、住民]  
雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

#### 流水の貯留 河川区域

[国・県・市・利水者]  
治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]  
土地利用と一体となった遊水機能の向上

#### 持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]  
河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

#### 氾濫水を減らす

[国・県]  
「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

### ② 被害対象を減少させるための対策

#### リスクの低いエリアへ誘導／ 住まい方の工夫 氾濫域

[国・市、企業、住民]  
土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす  
[国・県・市]  
二線堤の整備、自然堤防の保全



### ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

#### 土地のリスク情報の充実 氾濫域

[国・県]  
水害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信

#### 避難体制を強化する

[国・県・市]  
長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

#### 経済被害の最小化

[企業、住民]  
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

#### 住まい方の工夫

[企業、住民]  
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

#### 被災自治体の支援体制充実

[国・企業]  
官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

#### 氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]  
排水門等の整備、排水強化





# 4. 狩野川流域における治水事業

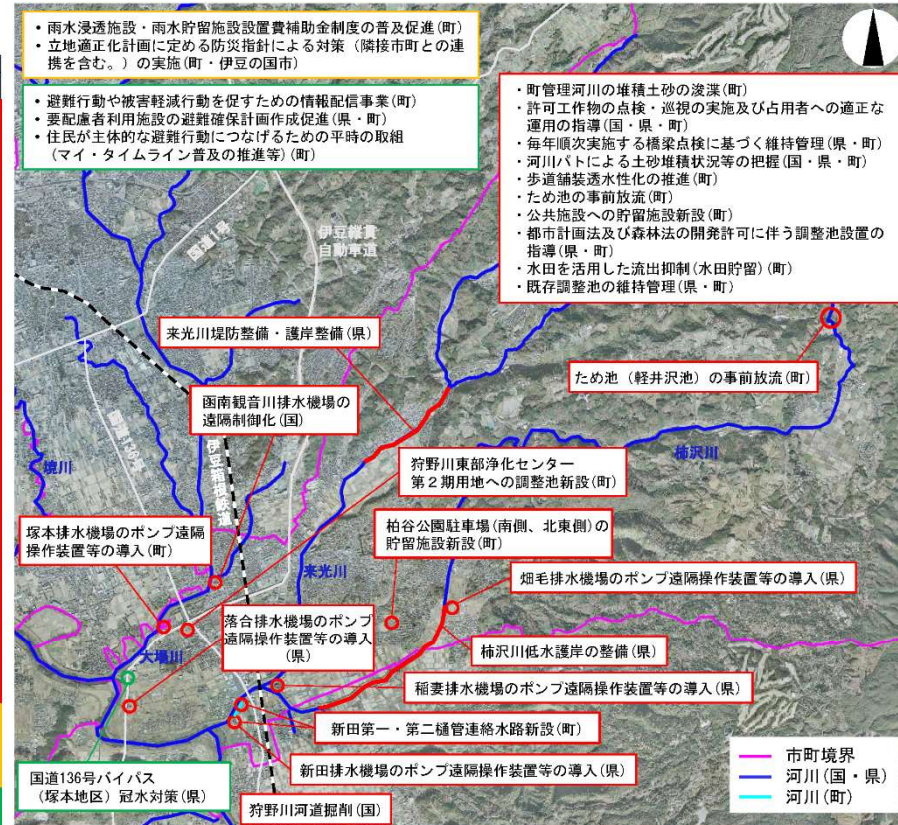
## 函南町水災害対策プラン（案）（狩野川内水対策アクションプラン）の概要

### ■プランの目標

気候変動により降雨が頻発化・激甚化することを踏まえ、河川及び流域の関係者が一体となった治水対策を進めることとし、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、床上浸水※を概ね4割軽減することを目指す。※浸水深が45cm以上である世帯を床上浸水とする。

### ■水災害対策プランの対策メニュー（函南町及び国、県）

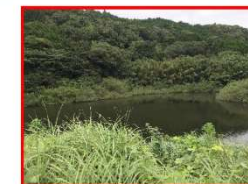
3つの対策	施策名	対策メニュー	主体	分類	実施時期				
					短期(9年)	中期(10年)	長期(20年)		
河道流下能力の向上、戦略的維持管理の推進		狩野川河道掘削	国	ハード対策	○				
		来光川堤防整備・護岸整備	県	ハード対策	○	○			
		柿沢川低水護岸の整備	県	ハード対策	○	○			
		町管理河川の堆積土砂の浚渫	函南町	ハード対策	○	○	○		
		排水機場（落合・塚本・新田・稲妻・畑毛）のポンプ遠隔操作装置等の導入	県・函南町	ハード対策	○	○			
		函南観音川排水機場の遠隔制御化	国	ハード対策	○	○			
		許可工作物の点検・巡視の実施及び占有者への適正な運用の指導	国・県・函南町	ソフト対策	○	○	○		
		毎年順次実施する橋梁点検に基づく維持管理	県・函南町	ソフト対策	○	○	○		
		河川ハトによる土砂堆積状況等の把握	国・県・函南町	ソフト対策	○	○	○		
		氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策		歩道舗装透水性化の推進	函南町	ハード対策	○	○	○
新田第一・第二樋管連絡水路新設	函南町			ハード対策	○				
ため池の事前放流	函南町			ソフト対策	○	○	○		
公共施設への貯留施設新設	函南町			ハード対策	○	○	○		
都市計画法及び森林法の開発許可に伴う調整池設置の指導	県・函南町			ソフト対策	○	○	○		
狩野川東部浄化センター第2期用地への調整池新設	函南町			ハード対策	○				
水田を活用した流出抑制（水田貯留）	函南町			ソフト対策	○	○	○		
既存調整池の維持管理	県・函南町			ソフト対策	○	○	○		
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫			雨水浸透施設・雨水貯留施設設置補助金制度の普及促進	函南町	ソフト対策	○	○	○
				立地適正化計画に定める防災指針による対策（隣接市町との連携を含む。）の実施	函南町・伊豆の国市	ソフト対策	○	○	○
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	避難体制の強化	避難行動や被害軽減行動を促すための情報配信事業	函南町	ソフト対策	○	○	○		
		要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進	県・函南町	ソフト対策	○	○	○		
		住民が主体的な避難行動につなげるための平時の取組（マイ・タイムライン普及の推進等）	函南町	ソフト対策	○	○	○		
		国道136号バイパス（塚本地区）冠水対策	県	ハード対策	○				



9 函南観音川排水機場の遠隔制御化(国)



来光川堤防整備・護岸整備(県)



ため池(軽井沢池)の事前放流(町)



・今後も施設の建替などの機会に応じた流出抑制施設の整備など雨水を貯める取組を継続的に検討する。  
 ・上記メニューは、今後の検討等により変更となる場合がある。

命を守る

ひなん  
早めの避難



## 5. 自助の重要性

### 自助・共助・公助

災害の被害を軽減するためには「自助・共助・公助」それぞれが災害対応力を高め、連携することが大切です。



出典：静岡県



#### 具体例

自助：食料や日用品の備蓄、ハザードマップ等で避難経路の確認、災害情報の収集等

公助：自主防災活動や地域の防災訓練への参加、近所の助け合い等

共助：国や県、市町、消防、警察、自衛隊等による公的支援

# 5. 自助の重要性

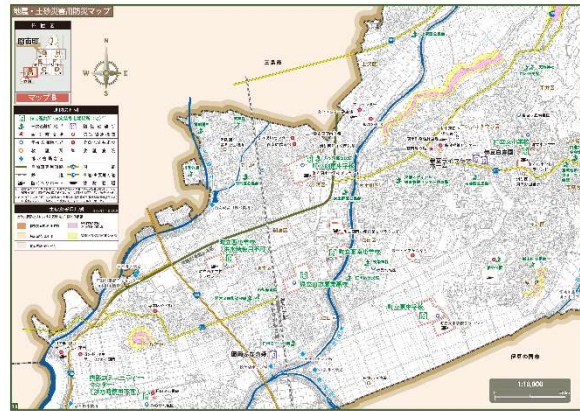
## 日頃からの備え・情報収集

### ■ 函南町 ハザードマップ

函南町では、災害時に住民自らが避難行動をとれるよう「函南町防災マップ」を作成しています。事前に確認しましょう。



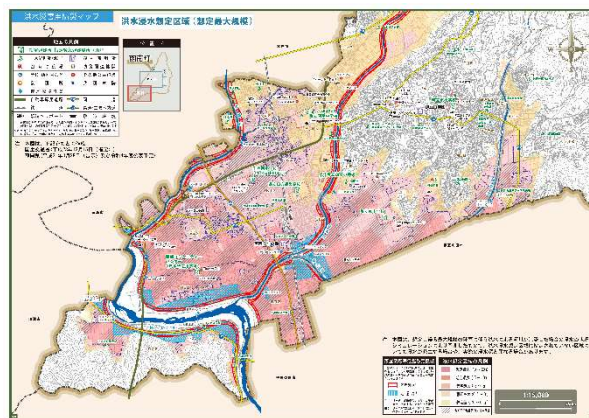
表紙



地震・土砂災害用 防災マップ



水害発生時における避難の心得



洪水浸水想定区域

出典: 函南町防災マップ

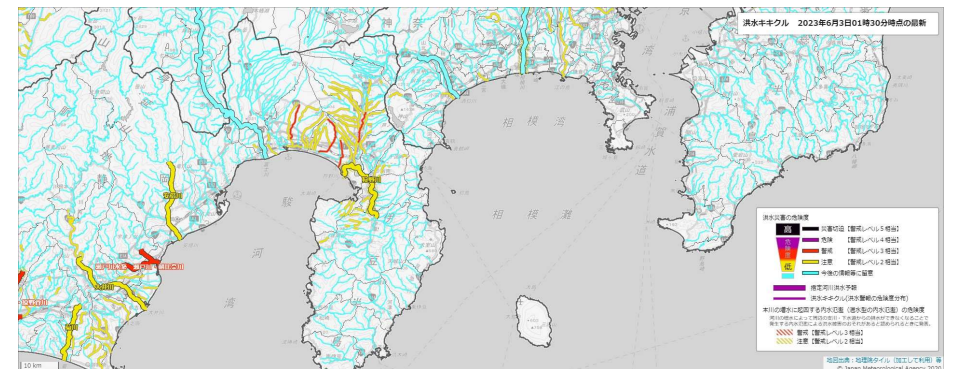


### ■ 災害に役立つ情報

雨が降り始めた時は、川の防災情報や、キキクルを使って、雨や近くの河川の情報を確認しましょう。



川の防災情報 (国土交通省)



キキクル(危険度分布) (気象庁)





## 5. 自助の重要性

### 地域の活動への参加

災害時に円滑に助け合いができるように、日常から地域での助け合いについて備えることが大切です。地域の防災訓練や行事に参加してみましょう。



静岡県・三島市・函南町総合防災訓練



出典ふじのくにメディアチャンネル(静岡県庁公式)



顔見知りなら  
避難生活も安心!



出典:静岡県

将来の地域の防災を担うのは皆さんです。

- ・家族で防災対策に取り組んでいきましょう。
- ・学習したことを地域に発信していきましょう。



避難訓練の様子

